

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 19 日 (2019.9.19)

【公開番号】特開 2018-188692 (P2018-188692A)

【公開日】平成 30 年 11 月 29 日 (2018.11.29)

【年通号数】公開・登録公報 2018-046

【出願番号】特願 2017-90766 (P2017-90766)

【国際特許分類】

C 2 2 C 1/05 (2006.01)

C 2 2 C 1/10 (2006.01)

B 2 2 F 1/00 (2006.01)

B 2 2 F 3/24 (2006.01)

C 2 3 C 8/24 (2006.01)

C 2 2 C 14/00 (2006.01)

C 2 2 C 32/00 (2006.01)

【F I】

C 2 2 C 1/05 E

C 2 2 C 1/10 J

B 2 2 F 1/00 M

B 2 2 F 1/00 P

B 2 2 F 1/00 R

B 2 2 F 3/24 K

C 2 3 C 8/24

C 2 2 C 14/00 Z

C 2 2 C 32/00 H

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 5 日 (2019.8.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

T i よりなる T i 原料粉末と、M o よりなる M o 原料粉末と、N i よりなる N i 原料粉末と、S i C , T i C , T i B₂ , M o B より選ばれる少なくとも 1 種のセラミックス粉末と、のみから得られる焼結体よりなり、

全体を 100 質量部としたときに、N i を 0 . 1 ~ 9 質量部で含有するとともに、前記セラミックス粉末を 1 ~ 15 質量部で含有することを特徴とする金属基複合材。

【請求項 2】

気孔率が 0 . 5 % 以下である請求項 1 記載の金属基複合材。

【請求項 3】

窒化処理が施されている請求項 1 又は 2 記載の金属基複合材。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

上記課題を解決する本発明の金属基複合材は、TiよりなるTi原料粉末と、MoよりなるMo原料粉末と、NiよりなるNi原料粉末と、SiC, TiC, TiB₂, MoBより選ばれる少なくとも1種のセラミックス粉末と、のみから得られる焼結体よりなり、全体を100質量部としたときに、Niを0.1～9質量部で含有するとともに、セラミックス粉末を1～15質量部で含有することを特徴とする。

本発明の金属基複合材によると、緻密な組織となることで、硬度（及び強度、耐摩耗性）が向上する。